

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲危険 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲危険

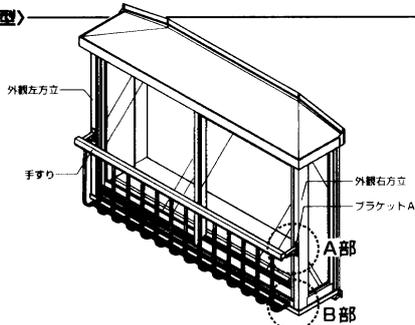
- ブラケットとサッシの取付け…取付け後の緩みを防ぐため、必ず指定のねじで固定してください。
- 取り付け後のチェック…手すりの取り付け後、笠木に手をかけ、ゆすってかた付きのないことを確認してください。
- 手すりに重いものをのせると、非常に危険です。人がのったり、足をかけないでください。

▲警告

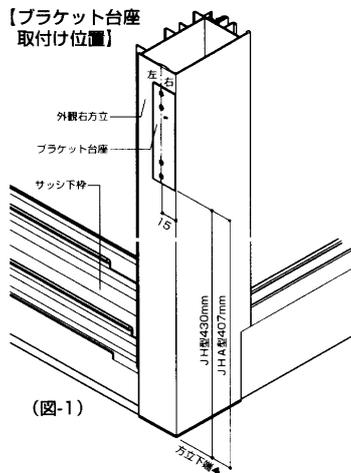
- 下穴（戸袋裏板）は、ねじの外れを防ぐため、4mmのねじに対してφ3.4mmのドリルを使用してください。

■取付け順序

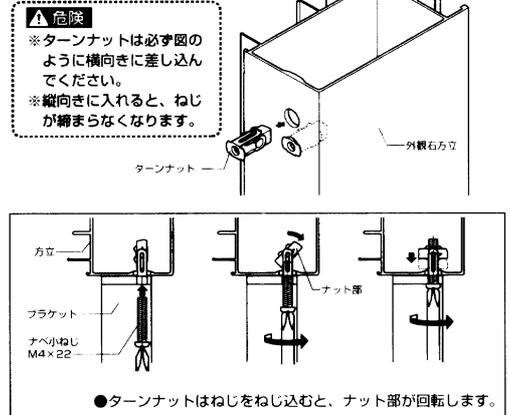
〔JH型〕



〔ブラケット台座取付け位置〕



〔ターンナットの差し込み方〕 (図-2)



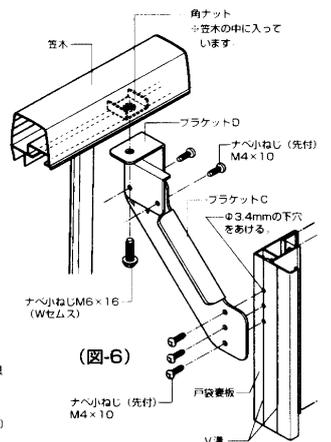
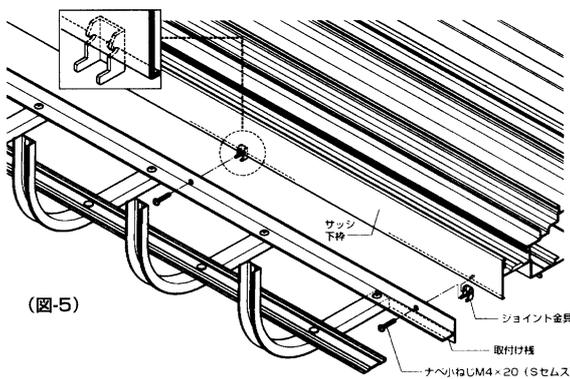
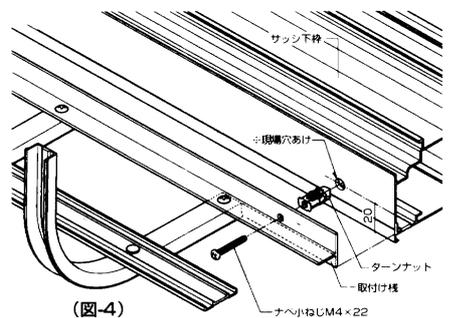
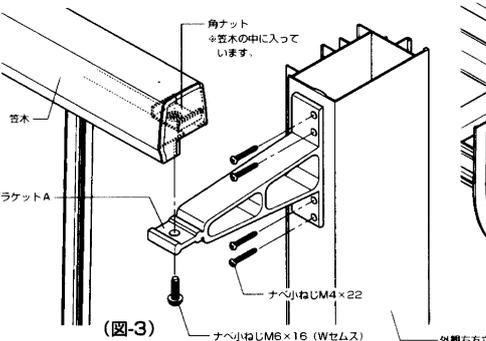
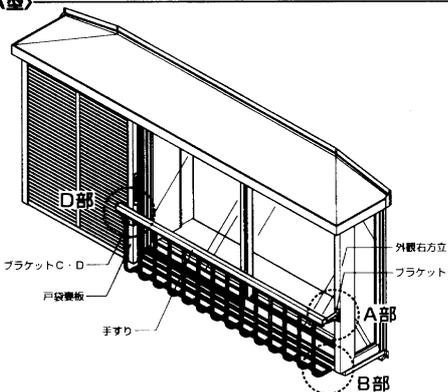
■A部の取付け

- ①方立にブラケット台座取付け位置を決めます。(図-1)
 - ②ブラケット台座を圧着し、φ4.5mmのドリルで下穴をあけます。
 - ③ブラケット台座を外し、φ4.5mmの下穴を更にφ8.2mmのドリルであけ直します。
- ※写し穴をあけたあと、ブラケット台座は不要となります。
- ④ターンナットを横向き(図-2)で差し込みます。
 - ⑤ターンナットにブラケットAを固定します。(図-3)
 - ⑥固定ねじは最後まで確実に締め付けてください。
 - ⑦ブラケットAに手すり本体を仮固定します。

■B部の取付け

- ①まずブラケットAに手すり本体を仮固定します。次に手すり取付け枠をサッシ下枠に当て、取付け枠の穴位置を下枠にケガキます。
- ②手すり本体をいったん外し、ケガキ位置にφ4.5mmのドリルで下穴をあけます。
- ③φ4.5mmの下穴を更にφ8.2mmのドリルであけ直します。
- ④ターンナットをA部の取付けと同じ要領で横向きに差し込みます。(図-4)
- ⑤ブラケットAに手すり本体を固定します。(図-3)

〔JHA型〕



■A部の取付け

- ①手すりの取付け枠にジョイント金具を仮止めします。(図-5)
 - ②方立にブラケット台座取付け位置を決めます。(図-1)
 - ③ブラケット台座を圧着し、φ4.5mmの下穴をあけます。
 - ④ブラケット台座を外し、φ4.5mmの下穴を更にφ8.2mmのドリルであけ直します。
- ※写し穴をあけたあと、ブラケット台座は不要となります。
- ⑤ターンナットを横向き(図-2)で差し込みます。
 - ⑥ターンナットは必ず横向きにしてください。
 - ⑦ターンナットにブラケットAを固定します。(図-3)
 - ⑧固定ねじは最後まで確実に締め付けてください。
 - ⑨ブラケットAに笠木を固定します。

■D部の取付け

- ①ブラケットCとDを組み合わせ、固定します。(図-6)
- ②笠木にブラケットDを固定します。
- ③ジョイント金具をサッシ下枠にひっかけ、仮止めします。(図-7)
- ④笠木に取り付けたブラケットを戸袋裏板に押し当て、V溝位置に合わせます。(図-6)
- ⑤戸袋裏板にφ3.4mmのドリルで下穴をあけます。
- ⑥戸袋裏板にねじ止めします。

■C部の取付け

- ①サッシ下枠に仮止めたジョイント金具のねじをきつく締め込みます。(図-7)

〔手すり下部納まり図〕

